



実り輝く晩秋に

校長 中山 克彦

ある人が、「子どもは大人の前段階に位置しているが、大人の予備的存在ではない。子どもは子どもを生きている。」と言ったことが印象に残っています。実に味わい深い言葉です。

子どもは刻々の今を精一杯生きているのです。勉強であれ、スポーツであれ、読書であれ、遊びであれ、一所懸命に我を忘れて没頭しているのです。また、「子どもは大人を単に小さくしたものではありませんし、大人になるまでじっと我慢し続ける存在でもない。子どもの時期でしか味わうことのできない楽しみを謳歌(おうか)すべき存在である。」と言った人もいます。同じような意味ですね。

市校の子どもたちも、次々に迫り来る行事に目標を持って、今を精一杯、懸命に生きています。「ようやく終わった」という解放感ではなく、「やりきった。」という達成感や充実感を味わいながら、成長を重ねているところです。

さて、秋も日一日と深まってきました。

右の詩を読むと、木の実が子どもの姿と重なります。

実際にりんごは、実が熟してくると自分から光り始めるのだそうです。これは「油あがり」と呼ばれる自然現象で、食べごろになったサインだそうです。これには、水分の蒸発を抑えたり、病原菌の侵入を防いだりして、果実の新鮮さを保っているのだそうです。

先日、学習発表会・校区文化祭が終わりました。保護者の皆様、地域の皆様の御参観をいただき、誠にありがとうございました。子どもたち一人一人がとってもいい顔をして、自信をもって、生き生きと光り輝く姿を御覧になっていただけたでしょう。

一つ一つ大きな行事を糧にして、自信たっぷりに、自分なりの色に染まり、その輝きを放っている子どもたち……。まさに今、実りの秋を感じています。

秋になると

工藤直子

木の実はいちばん

いい様子をして

「見てちょうだい」と

あっちこっちに 声をかける

そして 自分から ひかりはじめる



今月の活動



今年もたくさん収穫できました!



スローガンへの色めり



ALT とのグランドゴルフ



奄美市陸上記録会



ハロウィンパーティー



令和4年度 ★学習発表会・校区文化祭★

キバシ市っ子 キバシ市集落

仲間と共に咲かせよう 郷土の花



11・12月行事予定

【11月】	【12月】
2日(水)二者教育相談, 高校入試説明会	2日(金)学級 PTA, 学校保健委員会
7日(月)火災避難訓練	7日(水)きらり推進部会
9日(水)奄美市小中学校音楽発表会	10日(土)ロードレース大会
12日(土)サガリバナ幸縁緑化	23日(金)終業式, 大掃除
18日(金)中学年社会科見学	26日(月)冬季休業 (~7日)
22日(火)低学年集合学習	28日(水)仕事納め
中学生期末テスト(~25日)	